

生活科 授業の構想

(1年1組)

授業者 玉井 一行

1 単元名「なつとなかよし」

2 授業仮説

○「水」を中心とした夏の自然と繰り返しかかわることを重視した単元です。出会いの活動での意欲化、その後の活動を見つめ直す場面の設定などの工夫、子どもたちがお互いの思いや願いを大切に活動計画を見直す工夫により、夏の自然とかかわる楽しさへ気づき、自分たちの遊びをよりよくしようとします。【単元の仮説】

○本時は、川原遊びの計画を子どもたちが見直す活動です。試しの活動をグループごとに紹介した後に、子どもたち一人一人の川原遊びに対する思いや願いをグループ内で交流し合うことによって、計画の見直しの段階では自分だけが楽しむのではなくお互いの楽しさを考えた計画へと改善することが期待できます。【本時の仮説】

3 単元のねらいと子どもの実態

本単元は学習指導要領生活科の内容(5)、(6)と関連しています。「身近な自然の観察」と「身の回りの自然を利用する」「遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむ」という活動を【具体的な活動や体験】の中心として単元を構成していきます。

また、事前調査による子どもの実態から重視したことは右の3点です。特に夏の自然体験における興味・関心の中心は水遊びであるのに、川遊びの体験は約4割の子どもたちであるという点に着目しました。

本単元における、身近な自然の観察を行う場所は、<プレーグランド>と<井上靖

通りの通称「水公園」>です。特に本校から徒歩数分の距離にある井上靖通りは、四季を通じて子どもたちが生活科、ボランティア活動、学級活動などで身近にかかわることができて、「水」とかかわる活動が可能な子どもたちの生活圏での遊び場のひとつです。

そこで、「水」を中心とした「風、光、昆虫や草花」などの身近な自然と繰り返しかかわることができるように、導入での「水公園での遊び体験」、疑似体験での「学習計画作り」、実際に自然とかかわって楽しく遊ぶ「川原学習」、楽しかったことの「表現活動」というそれぞれの位置付けを明確にしました。体験的活動と、学級における活動計画、学校行事として行うローベツ川での川原学習との関連により、活動に対する「水」を意識した気づきや楽しさの深まりを実感することを目指した単元を構想しました。

<重視した子どもの実態>

- 保護者による子どもたちと夏の遊びのイメージで一番身近なものは「水遊びである」こと (97%がよく遊ぶ)
 - 家庭におけるこれまでの夏の野外活動で一番多い活動は水遊びであること (82%)
 - 夏の自然体験で、川遊びを体験したことのある子どもは半数以下であること (39%)
- ※水とかかわる活動は体験済みだが、川での活動経験は半数以下である

4 単元の見目標

【総括目標】

◎自然や生活の中から水を楽しむ活動を工夫して、夏の楽しさを発見する

【具体目標】

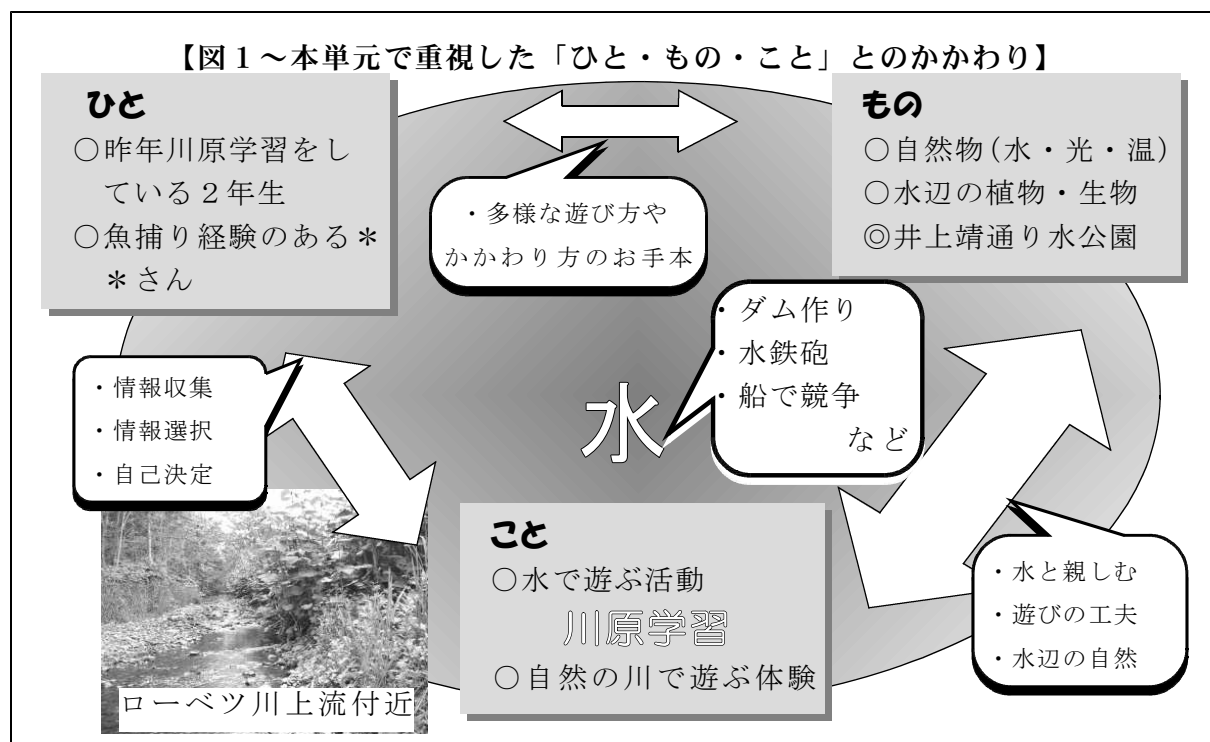
- 季節の変化による地域の自然やくらしの変化に関心をもち、水遊びへ意欲的に取り組もうとする 《生活への関心・意欲・態度》
- 自分のやりたいことを中心に川原遊びの計画を立てたり楽しかったことを絵や文で表現することができる 《活動や体験についての思考・表現》
- 季節の変化によって自分の生活や遊び方が変わること気付くことができる 《身近な環境や自分についての気付き》

5 単元の指導計画（9時間扱い～本時7/9）

- 第1次 なつをさがしに…………… 2時間
- 第2次 みずとあそぼう…………… 5時間（本時5/5）
- 第3次 かわらにつきをつくろう …… 2時間

6 研究内容とのかかわり

(1) 繰り返しかかわる夏の「ひと・もの・こと」の見直し【研究視点1-1】



事前調査の結果から、すべての子どもたち一人一人が繰り返しかかわることのできる学習対象の中心を「水」としました。表1に示した様に水を取り巻く「ひと・もの・こと」と繰り返しかかわる中で、子どもたちは夏の自然を楽しむ確かな気付きが期待できます。学級の仲間と夏を楽しむ活動を繰り返していく中で、水を利用した遊びの工夫に対しても多様な気付きが期待できます。

(2) 繰り返し水とかかわる活動を重視した単元構成の工夫

①水公園へ2度出かける出会いの活動の工夫【研究視点2-1】

【表2～出会いの活動で重視したこと】	
*1度目 夏への気付きを重点に	<季節の変化による気付き> ○水が流れていること ○草花の変化 ○虫の多さ
*2度目 水と遊ぶ体験を重点に	<水を中心とした遊ぶ活動> ○水に入る気持ちよさ ○流れる水とのかかわり ※水着の着用

出会いの活動では、2時間を2度に分けて井上靖通りの「水公園」へ出かけました。

この時に気を付けたことは、①活動時間を保証（中休みや昼休みを活用）する、②なるべく気温が高く天気の良い日（時間帯）を選ぶ、③見取りを2度目の活動へ生かす（水への抵抗を少なくする、安全に配慮する）の3点です。時間的・空間的なゆとりをもって、

夏らしさを体と心全体で感じ取る活動を大切にしました。

このことによって、子どもたち一人一人が夏の暖かな日差しの下、水とかかわる活動の中から、気持ちよさ、流れる水と遊ぶおもしろさ、草花や昆虫の発見など、今後の活動を大きく見通せる大切な気付きが生まれました。

「また、水公園に行きたい。」「また、暑い日は水で遊びたい。」「水で遊ぶのはおもしろそうだ。」「気持ちよく遊べそうだ。」という活動への意欲を大切に2次の活動へとつなげることができました。

②川原遊びへの意欲を高める試しの活動と計画の見直し（本時）【研究視点2-2】

川原遊びへのイメージを高める工夫

川原学習での遊びを試す活動を井上靖通り<水公園>で行います。自然の川原に対するイメージはあまり高くない子どもたちですので、次の導入段階で昨年川原学習を体験している「2年生」の写真を提示したり、質問してみたいことを考えて、2年生へインタビューに出かけたりしました。そうしてから、試しの活動の準備を進めました。

2年生へのインタビューは、朝の続ける活動の時間を活用しました。

また、水や川をイメージできるような工夫もしました。本時でも天候が良ければ中庭を活用して行います（流水実験場付近）。

川原遊びの計画を見直す（本時）

子どもたちの川原遊びへのワクワクした期待を継続したまま、高めることができるように、以下の3点を工夫しました。

井上靖通りでの試しの活動は、水とかかわる活動を中心に、石積み、ダム作り、草の葉の競争、そのまま水の中でバチャバチャと体で感じる遊び、などをそれぞれに楽しみました。

この試しの活動のイメージを伝え合うことによって、自分の川原遊びへのこだわりが、遊びを組み合わせたり、より楽しくなるように改善しようとしたり、より自分らしいこだわりのある工夫が生まれることを期待しています。

【川原遊びの計画を見直すための工夫】

- ①試しの活動での楽しさを再現する活動
⇒流水実験場で伝え合います
- ②試しの活動をイメージ化する写真の提示
⇒個性的な活動を賞賛します
- ③見直しの視点
 - ・より楽しい遊びになるための工夫（組み合わせや、内容の改善 等）
 - ・仲間のこだわりを取り入れる工夫（計画表への書き加え）

③水と自分への気づきを高める自己評価カードの工夫【研究視点2-3】

評価項目を決める工夫

自己評価の評価観点を子ども自身が決定し、学習活動の節目ごとに自己評価することを中心に考えました。学習活動への意欲が高まっていると、具体的な活動へのイメージがはっきりしています。川原学習への期待を高めることによって、子どもたちそれぞれがやってみたい「思い」や「願い」へのこだわりを大切にすることができました。

そこで、自己評価項目をいくつかのモデルを示して、自分のイメージに近いものを選択したり、考え出したりしながら決定できるようにしました。

【評価項目を決定させる主な観点】

- 活動ごとに「がんばりたいこと」
- 活動中に「工夫したいこと」

【図2～自己評価カード】

なつとなかよし	
1ねん1くみ	なまえ
①なつさがしをしよう たくさんなつをみつけましたか	
②けいかくづくりをしよう	
③けいかくのみなおしをしよう	
④かわらあそびのふりかえり	
⑤たのしかったことをあらわそう	

(3) お互いの思いや願いを共有化する場面を位置付けた交流活動の工夫（本時）

【研究視点3-1】

こだわりを表出させる工夫

繰り返し井上靖通りで水と触れ合った子どもたちは、水遊びの楽しさに浸っています。それぞれの子どもたちは、「流れる水」とかかわってどのような遊びをしたいのか、自分なりのこだわりが強くなってきました。

本時では、子どもたち一人一人の思いや願いの実現のために、グループ活動における改善の方法として共生的な場面を設定することを大切にしました。

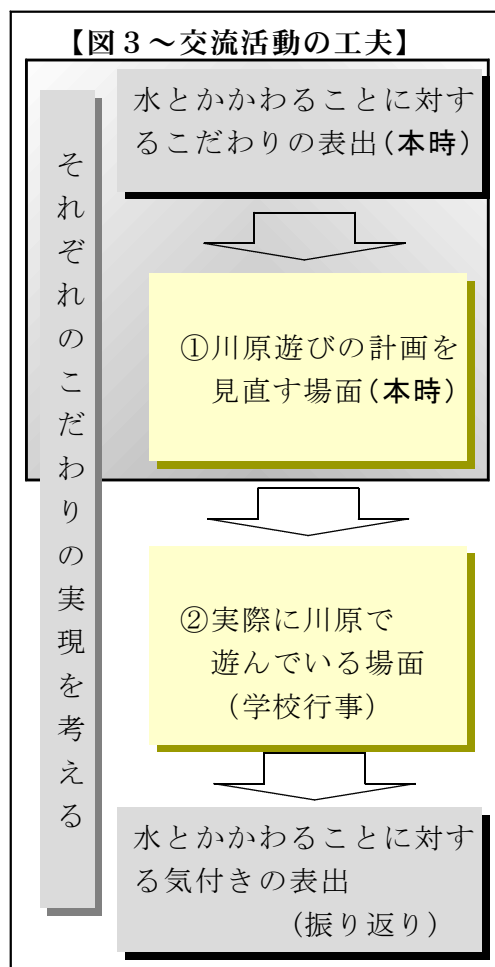
水とかかわることに対して自分がやってみようことをグループ全員が一度表出し合ってから、川原遊びの計画を見直します。

このことによって、グループのメンバーがお互いの思いや願いを知っていて、自分の思いや願いとのかかわりでどう実現するのか、グループで交流するための前提条件が揃うことになります。

1学年ですので、発達段階上その効果は大きくは期待できませんが、図3にある①本時だけではなく、②の川原学習で実際に体験している時に自分とお互いを考えての思いや願いの実現の姿が見られることを期待しています。

このような場面の設定は、交流場面ごとに継続していくことが重要であると考えています。

【図3～交流活動の工夫】



(4) 単元構想表及び評価計画 (9時間扱い 本時7/9)

次時	学習の流れ	主な学習活動	教師の働きかけ	評価計画
第1次	* 事前調査	○保護者アンケートによる事前調査	◇夏の遊びに対する意識やかかわり方の傾向をとらえる	<input type="checkbox"/> アンケート調査
	* 2時間*	① 活動の意欲化 ①	○井上靖通り「水公園」で夏を探す活動(2度行う) ・見つけたよカードへ気持ちを表現する ○「水公園」での夏探し	◇事前調査結果と1度目の見取りを生かした出合いの活動の工夫 ・2度目の遊び方への助言 ◇水と積極的に触れ合わせる 自己評価Ⅰ
第2次	① 活動の意欲化 <出合い>	○川原学習のイメージ化 ・2年生へインタビュー ○グループづくり	◇昨年度の川原学習の写真の提示 ◇見取り1を生かしたグループ編成「同活動型」	◆見取り3～基本要素2 ・夏の自然とかかわろうとしているか(関) ・活動は具体的か(思)
	① 活動への見通し	○どんな遊びをしたいのか見通しをもつ ⇒自己評価カード作り ○川原遊びの計画作り	◇見取り1を生かした子どもとの自己評価カード作り ◇見取り1・2から活動への助言 ◇必要なものは何か考えさせる	◆見取り4～基本要素2 ・夏の自然とかかわろうとしているか (関) ・活動は具体的か (思) <input type="checkbox"/> 計画表 自己評価Ⅱ
	② 個性的な追求活動	○井上靖通りの「水公園」で試しの活動を行う	◇見取り3を生かして活動の工夫や水との個性的な触れ合い方を賞賛する ◇見通しをもった活動準備への助言をする	<input type="checkbox"/> 行動観察 ◆見取り5～基本要素2 ・今後の活動への意欲が高まっているか(関)
* 5時間*	① 活動の見直し <本時> 7/9	○自分たちの計画を見直す ・遊びの工夫を紹介する 試しの活動の再現 ・こだわりの表出場面	◇「思い」や「願い」を実現するためにこだわりを表出する場面を工夫する ◇見取り5から再現グループ選定	自己評価Ⅲ ◆見取り6～基本要素2 ・楽しく工夫できたか(思) ・お互いの思いや願いを実現しようと気付いたか(気)
水と遊ぶ遊びを工夫するのは楽しいね 友だちや自分のよいところをたくさん見つけたよ				
川原学習(行事～自然体験学習)				
第3次	活動への意欲化 <出合い>	※関連的指導～国語「えとことばで」 ⇒したことをえとことばで表すその題材として川原学習の体験を生かす ⇒表現活動の試しの活動と位置付ける		自己評価Ⅳ
	* 2時間*	② 活動のまとめ	◇楽しかったこれまでの活動を想起する ◇活動の様子のVTRや写真の提示	◆見取り7～基本要素3 ・絵や文の工夫(表) ・夏の自然と自分とのかかわりに対する個性的な気付き(気) <input type="checkbox"/> 作品 自己評価Ⅴ
		◇川原日記を作って紹介し合う	◇水や自然とのかかわりへの気付きに対する賞賛	◆見取り8～基本要素3 ・夏の自然をうまく利用して遊ぶと楽しいということ気付いているか (気)

7 本時の学習

(1) 本時の目標

- お互いの思いや願いを表出し合う活動から、その後の計画の見直しにおいてお互いの「思い」や「願い」を取り入れた活動計画へと改善しようとする。
- 川原学習の計画の見直しにより、楽しい川原学習への意欲と自信を高めることができる。

(2) 本時の展開概要

主な学習活動	教師の働きかけ	研究との関連
1 試しの活動を想起する	◇前時の写真やVTRを提示する	
2 本時の学習内容の確認	◇本時の学習内容を提示する	
川原遊びの計画を見直して、もっと楽しめるようにしよう		
3 試しの活動を再現する 「こんなふうにしてみたよ」 「川原でもできるかな」 「これが楽しかったよ」	◇グループでの試しの活動を再現して紹介させる ⇒個性的な工夫やこだわりを賞賛する	○自分のこだわりを伝え合う場面をつくる【視点3-1】
4 グループごとに各自の「思い」や「願い」を伝え合う	◇各自の思いや願いを表出させる ⇒グループで全員が伝え合う	○グループ全員の思いや願いを共有化するための場面【視点3-1】
5 川原遊びの計画をグループごとに見直す	◇各グループの計画の見直しの見取りと助言 <見取りと助言の視点> ・仲間の願いを取り入れる工夫 ・より水と楽しむ工夫	○自己評価を高める他者評価の工夫【視点2-3】
川原で楽しく遊べそうだ。はやく川原遊びがしたいな。		
6 自己評価カードへの振り返りと今後の学習への期待をもつ	○自分で決めた自己評価項目に対する振り返りを行わせる ⇒紹介と具体的な賞賛	○自分への気付きを高める自己評価の工夫【視点2-3】

◇授業を観察していただくために

※試しの活動の紹介と各自の「思い」や「願い」を表出し合う場面の設定が、川原遊びの計画の見直しや意欲付けに対して有効かどうかをご覧ください。